

第1章 調査実施概要

1. 調査目的

大阪府に居住する65歳以上の高齢者を対象に、日常の生活状況や介護(予防)サービス等についての意識を把握し、今後の大阪府の高齢者保健福祉施策や介護保険制度の運営に資する基礎資料を得るために実施した。

2. 調査設計

- (1) 調査地域 府内全域
- (2) 調査対象 満65歳以上の府民
- (3) 調査対象数 5,680人
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5) 調査項目 巻末アンケート調査票参照
- (6) 調査実施期間 平成25年10月7日(月)～25日(金)

3. 回収結果

標本数	不到達 標本数	到達 標本数	回収数	標本数 に対する 有効回答率	到達標本数 に対する 有効回答率
(a)	(b)	(c)=(a)-(b)	(d)	(d)/(a)	(d)/(c)
5,680	25	5,655	4,076	71.8%	72.1%

※不到達: 転居先不明等で返戻されたもの

4. 表記などについて

- (1) 集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入したため、比率の合計が100%にならない場合がある。
また、複数回答を求めた設問は、回答者数に対する割合を示しているため、合計値は100%を超える。
- (2) 文中に示す「n」は、各設問の回答者数である。
- (3) 本文中の結果の数値は百分率(%)で表しているが、比較などの場合はポイントという表現を用いている。

- (4) 調査結果は、「全体」の構成比と各属性項目の構成比を比較することで、「全体」(平均)との差を把握できる。
また、集計表中、濃い網掛けは、全体より10ポイント高いもの、薄い網掛けは、全体より5ポイント高いものである。
- (5) 前回までの調査対象者は、要介護・要支援認定を受けている者と受けていない者を半数ずつとしていたが、今回は、認定の有無を考慮せず無作為抽出としたため、経年比較については、要介護・要支援認定を受けている者と受けていない者それぞれにおける比較としている。
- (6) 各属性項目における「不明」の回答は表記していない。
- (7) 属性などにおいて顕著な差がみられない場合は、解説を記載していない。
- (8) 回答数が少ない場合の集計結果については、統計上の信頼性が低いと考えられる場合もある。

【参考】

圏域	標本数	有効回答数	構成比(%)
大阪市高齢者保健福祉圏	840	586	14.4
豊能高齢者保健福祉圏	730	541	13.3
三島高齢者保健福祉圏	550	438	10.7
北河内高齢者保健福祉圏	840	591	14.5
中河内高齢者保健福祉圏	560	346	8.5
南河内高齢者保健福祉圏	690	523	12.8
堺市高齢者保健福祉圏	560	368	9.0
泉州高齢者保健福祉圏	910	610	15.0
不明	-	73	1.8
合計	5,680	4,076	100.0

※構成比は、有効回答数の合計に占める割合